

観光振興対策特別委員会会議録

1. 日 時 平成21年12月8日(火曜日)
午後1時31分～午後2時00分 世界ジオ・パークビデオ鑑賞
午後2時02分～午後2時43分 机上審査
2. 場 所 委 員 会 室
3. 出席委員 安 富 法 明 委 員 長 下 井 克 己 副 委 員 長
徳 並 伍 朗 委 員 村 上 健 二 委 員
布 施 文 子 委 員 荒 山 光 広 委 員
岩 本 明 央 委 員 山 中 佳 子 委 員
秋 山 哲 朗 議 長 河 村 淳 副 議 長
4. 欠席委員 な し
5. 出席した事務局職員
重 村 暢 之 局 長 岩 崎 敏 行 係 長
佐 伯 瑞 絵 係 長
6. 説明のため出席した者の職氏名
林 繁 美 副 市 長 山 縣 博 行 総 合 観 光 部 長
山 本 勉 総 合 観 光 部 篠 田 清 実 総 合 観 光 部
観 光 総 務 課 長 観 光 振 興 課 長
兼 重 勇 総 合 政 策 部 長 佐 々 木 郁 夫 総 合 政 策 部
企 画 政 策 課 長
小 嶋 卓 夫 秋 芳 総 合 支 所 建 設 課 長 伊 藤 康 文 建 設 経 済 部 長
金 子 彰 建 設 経 済 部 商 工 労 働 課 長 藤 井 勝 巳 建 設 経 済 部 商 工 労 働 主 幹
國 舛 八 千 雄 教 育 委 員 会 事 務 局 長 高 橋 文 雄 教 委 文 化 保 護 課 長

午後 1 時 3 1 分開会

委員長（安富法明君） こんにちは、ご出席をいただきましてありがとうございます。それでは只今より第 1 1 回の観光振興対策特別委員会を開会いたします。お手元にきょうの次第をお配りをしておるとは思いますが、一度勉強会を山大の先生に来ていただきまして、ジオパークについていたしました。その時に申し上げましたが糸魚川についてDVDが用意してあるようですのできょうは30分程度そのビデオを見ていただいたら、割と視覚的にとらえられるのかなというふうなこともありまして、事務局の取り計らいでそういうふうな段取りにしたいというふうに思います。そのあと取り組みについての是非といいますか皆様のご意見を伺います。それから2番目には時期的にそろそろ委員会の任期が迫っておりますので、提言書なり最終的な取りまとめ方についてご相談をしておきたいというふうに思っております。それではですねビデオはとなりの控室に用意がしてあるようですので暫時休憩をいたします。

午後 1 時 3 2 分休憩

午後 2 時 0 2 分再開

委員長（安富法明君） 再開をいたします。只今糸魚川における糸魚川が登録されましたビデオをDVDですか見ていただきました。いろいろと美祢市秋吉台当たりとの類似点もあるんですが、何か翡翠が出て2億程負けちょるようなきもせんでもないんですが、見られた感想とかご意見がございましたでしょうか。

特にないようでしたら先日次第の案としたぶんと一緒に皆さんのところへ届いておったと思うんですが、私のほうでですね一応世界ジオパークネットワークへの参加というガイドラインから多少もう少し読みやすいといいますか、わかりやすいようにと思って書き直してみたんですが、余り長くて、まだ長いようでわかりにくかったかもしれませんが2枚目の後ろのほうに美祢市の現状とですね世界ジオパーク構想との何といいますか、私の思いを書きました。ジオパークについてですね登録に向かって推進をするということと今までですね秋吉台、秋芳洞が取り組んできたあるいはジオパークに求められるものといいますかねそういうもの等考えるとですねかなり美祢市としてはこれを推進することに当たってはですねかなり優位に、有利と言いますか進められるんじゃないかなという気がしております。まずで

すねそのとこだけちょっと読んでみたいと思うんですが、合併をいたしまして新生美祢市が誕生してるわけですが、合併前から秋吉台、秋芳洞は学術観光の地と言うこと看板にして観光振興図ってきております。特に修学旅行当たりに対する対応が多かったというふうに思います。最近その何て言いますか、修学旅行の形態が変わって来て入洞客数の減少というふうなものにつながってるというふうに思っております。それからですね新生美祢市が掲げておるのが観光立市であり、観光交流拠点都市であります。恵まれた観光資源を保護し、また将来にわたり活用することで活性化を図ろうと言うふうに基本構想でもなっておろうかというふうに思います。次にですね世界ジオパークネットワークは世界的に貴重な大地の遺産を保護しながら活用することで地域の社会的、経済的發展を両立させようと言うことが主眼のようです。ですから保護する一方ではないということです。保護と振興という立場からすればですね美祢市が求めるものと非常によくあってるというふうに思います。それとですねまた保護、教育、持続的発展を図るために地域住民と行政研究機関など関係する団体が一体となって取り組むことにより地域の発展も実現が可能となり世界的に貴重な資源も守られるこういうふうな考え方のようにありますからこういう点についてもですね本市がこれから求めていく姿とも一致するのではないかと。ということです。それとですねその下が地域組織づくりと言いますか地域の協力体制についてですが、世界ジオパーク加入についてガイドラインはボトムアップ方式で推進されることを原則とし地域社会の協力なくして成功はなく、推進に当たっては地元を中心とした組織づくりが不可欠ですというふうに書いております。この辺がかなり大切で難しいところではないかなというふうな気がいたしてはおります。地元の組織と言いますか、観光協会、行政、教育・研究機関など多くの組織の協力が必要であり従来の行政的縦割型の組織運営ではなく、多数の組織を横断的にまとめる必要が出てくると思います。このことにつきましては下井副委員長のほうから前の委員会で何と言いますか組織についてのイメージ図が提出をされてます。こういうものでしたよね。この辺とも兼ね合ってきて下井副委員長の言わんとする辺がこういうふうなもの絡んでくるんじゃないかというふうに思っております。最後にですねジオパークへの加入は、世界的な知名度の向上が期待されるとともに、地域の協力体制の確立によりまして、観光立市「美祢市」の基礎が築けるのではないかと。言うふうに纏めては見たんですが、推進に当たってということでは皆さんのご

意見いかがですかね。今のビデオを見られたり、今までの先生の講義と言いますか、お話を聞かれたりやるとしても新年度、早ければですね、ぐらいから観光振興計画と合わせて進めばもっといいかなと言う感じはしております。はい、下井副委員長。

副委員長（下井克己君） いずれにしても観光振興計画もありますので、それに併せて是非進めて行っていただければ私としては嬉しいと思いますが。やるべきだと思います。

委員長（安富法明君） 他には。よろしいですか。はい、布施委員。

委員（布施文子君） 私もやる気で取り組んでみる必要があるというふうに思います。このジオパークについて洞爺湖の有珠山、糸魚川、それから島原半島ですか、その三つが今ジオパークにネットワークの中に入って活動してる。それが全て非常に世界的に貴重な断層だとか火山だとかそれに取り組んできた人々の活動等が非常に重視をされて来ていますので、そういうことの掘り起こしと言いますかきちんとしたことをやっていくためには先程言われたように地域のきちとした協議会という組織が非常に大切だと思いますが、やるという方向で私も賛成で取り組んでいただきたいというふうに思います。

委員長（安富法明君） 他には。よろしゅうございますでしょうか。休憩中も含めて基本的には委員の皆さんの意見としてはですね、鋭意取り組んでみるべきであろうというふうなあれが多かったんですが。執行部としては特に何か意見が、お考えがおりますか。特に感想はお持ちじゃないですか。やれと言われればやるという程度。いや是非私たちもちゅうような意見があると、そうかのちゅう気がせんでもないんですが、よろしいですか。はい、西田課長。

総合観光部観光振興課長（西田良平君） 私も先日の勉強会以降、日本ジオパークネットワークの事務局でありますまさに今DVD見ました糸魚川市のジオパーク推進室のほうと連絡を取りまして、いろいろお話しをお伺いしたところであります。その中でまず秋芳洞、秋吉台、その他美祢市のこういう地質学的なところについてご説明をしたのちに活動関係もですね併せてエコツアー等も実施してるというようなところで申し上げたところ、あくまで感覚的な話にとどまっているかと思いますが、まず日本ジオパークネットワークへの準会員と言いますか、段階的には準会員、それから会員ということになって最終的には日本ジオパークネットワークの登

録団体のうち毎年2箇所が世界ジオパークのほうへの申請の権利があると言うようなことをお伺いしました。その中で秋芳洞、秋吉台及び美祢市地域としては十分にジオパークとしての価値は十分あるでしょうと言うふうなお話しをお伺いしました。あとは先程委員長さんのほうからのご説明がありましたように組織として地元の気運とかそういうところの組織づくりというところが一つは大きなポイントになりますよと言うことをお聞きしましたので、まさに副委員長さんのほうがお示しになりました以前のまちづくり推進プラン、このような形での組織づくりをしたのちに世界ジオパークに向かって進めて行けばいいのかなと言うふうには思っております。それともう一つは学術的な観光地という位置づけで言えばまさにジオパークという一つの付加価値であったりとか、ブランド化と言いますか、そういったようなところからも修学旅行誘致としては非常に効果があるのではないかと言うふうに思っております。以上です。

委員長（安富法明君） はい、まさに我々もそういうふうな大体感覚で見えております。そこでですねもう一つ視点としては考えておいていただきたいのは、前々から言っておりますけれども新市としては基本構想が今できて、それに伴ういろんな計画づくりが今から進みます。その中で新年度からなるということになると思うんですが、観光振興計画が当初の計画からすればちょっと1年遅れたという感じで今から進みます。その中で十分にこういうこと検討しながら振興計画をよりよいものにしていただくということまず一つ。もう一つは交流拠点都市ということ市長は非常に大きな期待を込めて重点的にやるということでこれは柱になってくるんですが、実際の観光会計は合併前からの引き継ぎで累積債務を抱えるような状況に実はあります。合併効果が出ていい方向には向いておるんですが、これは今のお客さんの流れが底を打って今から少しずつでも上に向いて、上向いて行くと言うことが前提ですから限りない、弛まないと言いますか経営改善の努力をせんにやいけんと言うことが一つあります。その中に資金不足比率ではないですけれどもそういったものを含めた県の指導なりも含めてですね経営改善が求められるというのが2点目。もう一つはですね今議会のほうにも出てきておるんですが、行政改革の大綱の審議が始まろうとしております。集中改革プランも含めてですが、こういう中で少子高齢化のまち振興するまちの中でいろんな形での行政のあり方というものをスリム化と言いますか効率化を図っていかんにやいけん。その中でまた一つ大きな財政問題、財

源をどこに求めるかというふうな、あるいは税込ですよ、こういったことが出てきております。当然出てくる訳なんです、その中にですねやはり早期に観光会計の健全化を図って新市の何と申すんですか、特別財源といいますか、そういうふうな形に持って行けるというのがやはりこの辺の改革のやはり中心になる。なかなかほかに財源の充てていうのはないと思いますからおそらく市長もその辺のことを期待をされておるんじゃないかと思うんですよ。これ3点目ですよ。その辺のものが地域のあるいは地元の協力体制をいただきながら必要な施設整備なんかの投資もできる例え赤字がある中でもですね投資効率考えながら進められるということ、基本的な姿じゃろうと思って、あるべき姿だろろうというふうに思っております。ですからその辺のことを踏まえてですね一緒にこれが車の両輪のように動いて地元の協力体制、行政は行政としてあるいは他の機関も併せてって、それこそさっき西田課長が言いましたけれども組織の中でこう縦割りじゃなくて横の連絡を取りながらという一つまとまりのある動きができるようにということでその辺の一連のものが解決できるようになればなあというふうな思いがあります。じゃああれですかこの件については一応最終的な報告も含めて鋭意取り組んでいただくというふうな提言の仕方といいますか、報告書に盛り込んで行くということによろしゅうございますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

委員長（安富法明君） はい。それとですねあと一つ、これ議長からも言われておったんですが、あと報告書でも書きますが、もう一つ手元にですね世界ジオパーク参加について有望サイトの抽出というのが届いてないですかいね。ちょっと書いてみたんですが、これは報告書に付けて写真を入れてですねある程度こうこれが足りないかもしれないんですよ、私が思いついたものをずっと書いてみましたからですね、とりあえずちょっともし皆さんもこういうものがあるよと言うのがあったらそれに付け加えてみたいし、これちょっと違うんじゃないかと言うものあるかもしれませんが、最終的にはまた専門的な立場でですね見られて全然お門違いのものもあるかもしれませんからですねちょっと執行部の型も委員さんも含めてですね、1番から地層に関係するものとしてですね、まず、アとして秋吉台、それから秋吉台のカルスト地形、ドリーネ、ウバーレ、ポリエ、これはご存知かと思ひますけれどもドリーネというのが台上石灰岩地形の何と申すか最初にできる地下水の浸食によつ

てできる小さい穴ぼこのようなものですね、その次がウバーレですいい、これおそらくですね江原ぐらいでいいんかいな、その少し大きくなった分ですね、その次がそれより大きくなったのがポリエこれが嘉万とか別府のそのなんちゅうんですかね田んぼになったり家が建っておったりするんですが、嘉万ポリエとか、別府もポリエになる嘉万・別府ポリエといったほうがいいかもしれませんが、青景も含めてそういうふうになります。これが大体石灰岩地形のだんだん年を取っていく姿が順番になっておるこういうふうなところ。それから、イとしてはその下にある鍾乳洞ですね、秋芳洞、大正洞、景清洞、中尾洞、他にもたくさんあると思うんですが、そういうふうなもの、それからあとウに長登銅山遺跡にしておりますが、銅鉦山跡と云うことですね、石灰岩地質だけじゃなしに石炭層が出ます大嶺のあれは化石採集場、オに大岩郷を書いております。これがどういう関係があるかとちゅうのもよくわかりませんが地形の一つの形だろうとこういうふうに思います。この辺に他にあれですかいい何かお気づきのところがありますかね。（発言する者あり）高橋文化財保護課長。

教育委員会文化財保護課長（高橋文雄君） 大きく分けますとこういうものになるんではないかと思っておりますけども、アの秋吉台カルスト地形には帰り水ですね逆転構造をしていたという最初に秋吉台の地質を大きく日本の学会に報告した分でございますね。それをお加えになれるほうがいいかなと思っております。それから、エの分の大嶺炭田の石炭層でございますけれども、これは今、化石採集場というのが上がっておりますけれども美祢市の露天掘りあとで最大の露天掘り跡が桃ノ木の山の中に1箇所ございます。旧桃ノ木露天掘りと私ども言っておりますけどもそちらのほうが景観上が非常にいいかなと思っております。以上でございます。

委員長（安富法明君） はい、ありがとうございました。はい、下井副委員長。

副委員長（下井克己君） 今の帰り水なんですけど、あれは2のカルスト地形と湧水のほうじゃないかなと私は思ったんじゃないけど、あっちのほうに入れたほうかと思ったんですけどどうですかね。

委員長（安富法明君） はい、高橋課長。

教育委員会文化財保護課長（高橋文雄君） 今の帰り水のほうはいわゆる最初に秋吉台が大きく逆転しているというところの地質現象でございますので、これはやっぱり地層のほうに入れたほうがいいんじゃないかなと思っております。

委員長（安富法明君） 次にですね特異なものとなればカルスト地形の湧水、秋芳洞あたりは地下水系がラムサールの指定を受けてますから、それから弁天池がカルスト地形の湧水として有名ですよ。あと別府に白水の池、それぐらいかなまだ他にも小さいものはたくさんあるだろうと言うふうに思うんですが、これぐらいかな。それからずっと行ってみましょうね。3番目にですね講師の先生がよく言われました博物館等の研究あるいは受け入れの施設、研究の施設とか受け入れ施設ということですね。秋吉台科学博物館がございまして、化石館、歴史民俗資料館、長登銅山文化交流館、県の施設であります。秋吉台エコミュージアム等があります。内容はともかくとしてこの辺もかなり不足がないくらい、新しい古いはありますが、ある程度のものがあるのかなと思いますし、4番目にしておりますジオツアーでガイドラインの中では出てくるんですが、ジオツアー的取り組みとかですね教育活動、生活をする人との生活と歴史のようなもの、これに対しては既にエコツアーというものかなり本格的に実施をしております。それから、イとしては秋吉台子どもガイド、中高一貫教育での火道切り等もされております。それからですね秋吉台の年代がちょっとなかなかわからないんですが、採草と山焼、秋吉台での採草するために山焼きがずっと行われてきたと言う歴史、それから地層とか動植物等の研究では山口大学との連携があります。これぐらいを書いてみたんですが、他に何か有望なものがありそうですかね。特には思い当たらないですかね。（発言する者あり）それでですね、これお願いなんです、執行部に、100周年記念も終わりましたしですね。このサイトを写真入りでちょっとそれなりの説明ちょっと言うんですか進めるに当たってこういうものが有望なものがありますよと言うものがわかるようなもの一つ作ってもらえないかなと下井副委員長に頼もうかなと思ったけど。なかなか我々が取り組むよりは上手にできるかなと思うんですが。よろしいですか。引き受けてもらえますか。よろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

委員長（安富法明君） 総合観光部のほうでお願いをします。それとですね次に行きたいと思うんですが、提言書の取りまとめというふうに実は書いております。先に申し上げましたように中間報告をすでにしてあります。一応ですね委員会の任期と言うこともございますので、一応これくらいで中間報告を一応もう一度皆さんで見てください。時間の経過とともにあとの多少意見等のやりとりのこともありまし

たからもう一度見ていただいて最終的な報告としてはこうなおしたらいいじゃないかということと等をもう一度確認をしていただけたらなというふうに思います。よろしいでしょうかね。もう一度次の3月に行くまでに適当な時期にその取りまとめをしたいと思います。それとですねもう一つは今のジオパークネットワークへの登録ということを新年度から取り組むというふうな前提の下に推進をするということと、あとですね今併せて言いました組織づくりの件をいろいろ申しあげましたけどもそう言う観点から地元中心とした組織づくりを推進をすることという2点ぐらいを重点的にねりあげたあとですね付け加えたものくらいしたらどうかなというふうに思っております。議長特に何かありますか。（発言する者あり）

それとあとですね一つ思いがありますのは、どうしても執行部が観光振興計画を作り始動してから観光振興計画の策定が始動してから議会として今のような委員会になるのか誰か代表で出すのかというのは議長の取り計らいもあるかとは思いますが、それからのほうが今までいろいろ勉強したこととか議論したこと踏まえて、あるいは提言したことも踏まえてですね一緒に議論したらいいものになって行くんだろうというふうに思っております。次年度以降になろうかと思いたしますが。はい、布施委員。

委員（布施文子君） 高橋課長さんに質問なんですけど、伊佐の売薬等、それから秋吉台のとれる植物、そういうものはまったく関係ないんですか。

委員長（安富法明君） はい、高橋課長。

教育委員会文化財保護課長（高橋文雄君） そちら辺につきましてはちょっと私も詳しくございませんので、秋吉台のいわゆる自然に生えている薬草を使っていたかどうかと言うのはちょっと定かではございません。申し訳ございません。

委員長（安富法明君） はい、布施委員。

委員（布施文子君） 提言書ってどこまでの内容を纏めるかということなんですけど、やはり教育も暮らしも歴史も文化もそういう面からやはり有望サイトというものの抽出していく必要があると思うんですね、だからこないだから出てるのにはやはり食も出てくるだろうし、楽しいことあるいは美しい自然だとかそういうものも一緒に有望サイトの中に入れて提言としてどのようにより実施可能な提言をしていくかということが1点と、美祢市の中にそういうことに一生懸命取り組んでくださる人物というか学者さんというか、そういうような人の発掘が美祢市外にもあればそ

ういう方々の応援を求めるといことはどうかというふうに思います。

委員長（安富法明君） 基本的には今、副委員長がよくいろいろとよく知ってるんですが、市外の方も秋吉台関係でいろいろ協力して既にやっておられる方も多数おられると思います。あとボランティアのなんかのこともよく考えちゃかんと、今の糸魚川の話もツアーとか何とかということになるとかなり本当民間のボランティア活動というのが主体になると思います。石見銀山のきょうあれをラジオでやってたんですけども何人というたかな、ものすごいボランティアのガイドさんがおってんですよ、60人と言ったかな、70人と言ったかな、多かったですよね。ですからたしたもん世界遺産じゃからどうか知りませんが、そういうことは一つの世界遺産じゃろうと、ジオパークじゃろうと、前提でしょうね。じゃあ大体私のほうで考えておったのは以上ぐらいですが、特に委員さんのほうから、他にご意見があれば、何でも。はい、岩本委員。

委員（岩本明央君） 先程から委員長が提言書の中間報告ということで、大変ご心配だと思いますが、それで私資料いただきました地層等というところのドリーネ、ウバーレ、ポリエいろいろあるようですが、その辺のどの辺まで掘り下げたものを出すかちゅうことでしょうか、例えば産業振興とか観光振興との関わりであればドリーネを活用してゴボウを作っておる。（発言する者あり）その辺の一つの例ですけどね、どこら辺まで提言書の中間報告の中に上げられるかどうかちゅうのはちょっと私疑問に思うんですが、その辺はどうなんですかね。

委員長（安富法明君） 基本的にはですね、気がつくもの全部上げたらいいと思うんです。それがいいとか悪いとかじゃなしに今からジオパークの登録に向かってどういうサイトが有望かどねーかというのは今から専門的な立場でですね議論した上で話ですから我々の浅い知識じゃない、もうないに等しいわけですからそれでいいんじゃないかなと、だからこそですね計画が動き出してからその中に議会のどういう形でまた委員会を作るのか先程言いましたように代表の委員を誰か送るのかというふうな形でいろいろやりとりしながら進めて行けばいいだろうとこういう考え何ですいいね。よろしいでしょうか。他には、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

委員長（安富法明君） じゃですね、その他のほうもいいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

委員長（安富法明君） 以上で議題としたことはですね、終わりたいというふうに思いますが、議長よろしいですか。（発言する者あり）副議長もよろしいですか、何かあれば。（発言する者あり）執行部のほうよろしいですか。はい、副市長。

副市長（林 繁美君） 本日の議題になって今協議していただきましたジオパークの加盟についてですね、これ当初世界遺産ということから始まったんですが、ジオパークという言葉、聞き慣れない言葉でしたがこの委員会で皆さんお知りになって私を含めて知ったと言うことで只今の説明で名乗ることは日本の今の協会に登録すればいいということですし、また、以前いただいた資料にもこのメリットとしては保護だけで利用できない世界遺産より住民や地域のためになると言う新聞の資料ももらってます。だから是非ですね、この辺私どもの事務方等もこれから研究して是非登録に向けてといたしますか、加盟したいと思います。それとたまたま、これ私11月の8日の官庁速報を見ておったら世界ジオパーク国内候補地の山陰海岸、これ全山陰海岸が出ておりましたけど、いろいろな動きを地元でしておられるハード面含めたソフト面、ボランティアガイドの裾野を広げるような講習会等開いているろやっておられるということですので、是非これおもしろい取り組みと思いますので執行部のほうとしても是非進めて行きたいと思っております。

委員長（安富法明君） それとですね一つだけきょうビデオを見せていただいたわけなんですけど、これがまた話が進んできて市民の方がジオパークちゃんにかやという話も出てなかなか一口ではまた難しい、じゃからああいうのは再放送というて叱られるんかもしれんけども、MYTさん当たりで適当な時、流せるもんならねそういうふうなの取り組んでいってジオパークちゃこういうもんよというようなことも流すというようなことも時期がすぐじゃ何が何やらわからんでしょうけど。（発言する者あり）よっぼどよう宣伝もしてですね市民の方の協力が得られる体制づくりの中ではコマーシャルというかこちら側のね行政側のよう宣伝もせんにゃなかなかとりついてもらえんかなちゅう気にはなります。はい、じゃあ一応ですね以上で議題とすることは終わりましたので、特に委員の皆さんもご意見がないようですので、以上持ちまして観光振興対策特別委員会を閉会したいというふうに思います。お疲れでございました。

午後2時43分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成21年12月8日

観光振興対策特別委員会

委員長 安富法明